

2017年7月28日

**SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド™ (愛称：あんしんスイッチ™)  
三井住友銀行を通じ、国内投信市場においてバランス型では約10年ぶり※1となる  
600億円超の大型設定に成功**

**アムンディ・ジャパン株式会社**

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ジュリアン・フォンテーヌ）は、三井住友銀行を通じ、アムンディ プロテクトシリーズ™の第一弾として日本初※2となる、資産保全型マルチアセットファンドに、基準価格の下値を一定の水準で確保する新しいコンセプト（プロテクトライン™）を導入したファンド「あんしんスイッチ™」を本日設定いたしました。当初設定額は600億円超に上り、この結果は日本の投信市場におけるバランス型の新規設定としては、2007年以來の大型設定となります。これは同ファンドが資産運用の入り口として幅広い銀行預金者のニーズに応え得る商品であることを示唆しており、今後「貯蓄から資産形成へ」の流れをサポートするものと確信しています。

同様に、資産運用への入り口商品として日本市場向けに設定された「アムンディ・ダブルウォッチ」（2016年1月設定）についても純資産総額は1,200億円を超えており（2017年7月28日時点）、アムンディ・ジャパンは引き続き、アムンディ プロテクトシリーズ™を通じて資産運用の未経験者を含む幅広い層のニーズにお応えすべく、適切な低リスク商品を提供することにより同領域でのグローバルリーダーとして、また資産運用のソリューションパートナーとして日本市場に貢献してまいります。



**アムンディ プロテクトシリーズ™について**

「アムンディ ダブルウォッチ™」「SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド™」を包括する資産保全型ファンドをシリーズ化したものであり、アムンディ プロテクトシリーズの商品コンセプト等は特許出願中です（特願 2017-129052）

出所：モーニングスター調べ

※1：2017年6月末時点。国内籍公募追加型株式投信において、設定時にモーニングスター大分類「バランス型」（確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF含む）に属するファンドが対象。当初設定額は、設定日の純資産総額に基づく。コース別等は除く。

※2：2017年4月末時点。国内籍公募追加型株式投信において、モーニングスター大分類「バランス型」（確定拠出年金及びファンドラップ専用、ETF等は除く）に属し、交付目録見書の投資目的・特色の欄において、基準価額を一定水準で確保するタイプとして考えられるファンドを対象。

## アムンディについて

アムンディ アセットマネジメント（以下「アムンディ」）は、運用資産額で欧州 No.1、世界トップ 10 の資産運用会社の一つ<sup>\*1</sup>です。パイオニア・インベストメンツの買収により、現在、世界の主要 6 運用拠点<sup>\*2</sup>を通じて 160 兆円<sup>\*3</sup>を超える資産を運用し、欧州、アジア・太平洋地域、中東、および米国において、アクティブ、パッシブおよびリアルアセット等の投資対象を幅広くカバーするプロフェッショナルなソリューションを提供しています。アムンディはパリに本拠を置き、2015 年 11 月から株式上場。株式時価総額で欧州 No. 1、世界 No. 5<sup>\*4</sup>の資産運用会社です。また、最も重要な海外拠点である日本において、アムンディ・ジャパンは、40 年以上にわたり革新的な運用手法で日本のお客さまに最適な運用ソリューションを提供しています。

公式ウェブサイト：[amundi.co.jp](http://amundi.co.jp)

- 1 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2017年6月版、欧州に本拠地を置く運用会社の2016年12月末の運用資産額）に基づく。
- 2 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 3 出所：アムンディとパイオニア・インベストメンツの統合された試算による。約1兆3,000億ユーロ、1ユーロ=122.70円で換算。2016年12月末現在。
- 4 2017 年 4 月末現在の発行済株式の時価総額に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：[pr@jp.amundi.com](mailto:pr@jp.amundi.com) 直通：03-3593-5700

## 投資リスクについて

ファンドは、主として世界の株式、債券、不動産投資信託証券（関連する証券（上場投資信託証券等）を含みます）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「資産等の選定・配分リスク」「流動性リスク」「信用リスク」等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 手数料・費用等

投資者の皆さまに実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### 〈投資者が直接的に負担する費用〉

購入時手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。
--------	--------	---------	--------

### 〈投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用〉

運用管理費用（信託報酬）・保証料	純資産総額に対して年率 <b>1.4404%（税込）以内</b> ※ファンドの信託報酬年率1.2204%（税込）以内に保証料年率0.22%を加算しております。ただし、基準価額がプロテクトラインまで下落し、繰上償還が決定した場合は、繰上償還決定の翌日から償還日までには保証料（年率0.22%）のみとなります。 ◆上記の運用管理費用（信託報酬）および保証料は当資料作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 * <b>その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</b>

当資料は、SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド（愛称：あんしんスイッチ）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。